

子育て環境を取り巻く課題への対応について

(令和8年度取組の検討における問題意識)

三条市教育委員会子育て支援課

1 現状認識と課題

《第3期すまいる子ども・若者プランの目的》

- すべての子どもがライフステージに応じて、安心できる環境で健やかに自己形成していける環境づくり
- 子育て家庭が子育てに対し不安や負担を感じることなく、喜びを実感できる環境づくり

【 施策区分Ⅰ 子どもの健やかな成育への支援 】

検討・解決していくもの

【現状認識1】

放課後等に公共施設以外で子どもたちが遊びや学習など自由に利用できる居場所が少ない。



【課題1】

子どもの居場所づくりのための民間活力への支援

- 大項目1 子ども・若者の安定的な自己形成の場の充実
- 小項目(3) 放課後等の過ごし方の充実

【 施策区分Ⅱ 子育て当事者への支援 】

検討・解決していくもの

【現状認識2】

少子化が進行する中であっても、子ども同士の適切な関わり合いを持つことができる保育集団の維持



【課題2】

少子化に対応した保育所等の在り方の検討

- 大項目1 子育て環境の充実
- 小項目(1) 多様なニーズに対応した保育環境の充実

【 施策区分Ⅲ 家庭、地域の意識の醸成 】

検討・解決していくもの

【現状認識3】

三条市は子育てにやさしくないまちというレッテルを貼られている。



【課題3】

三条市の子ども・子育て支援に対するイメージアップ

- 大項目1 地域による子育て支援の機運の醸成
- 小項目(1) 子ども・子育て家庭を応援するまちづくりの推進

2 現状と今後の方向性 【課題1】子どもの居場所づくりのための民間活力への支援

◎現状と問題点

- 徒歩や自転車で移動する小学生が、放課後等に自由に集まり遊んだり勉強したりできる『居場所』が各小学校区に整備されていない。
- 民間が施設を開放し学びの場を立ち上げるケースも出始めているが、立上げの設備投資が課題となっている。

小学生が屋内で遊べる場所

小学校区	施設
裏館小	体育文化会館
	厚生福祉会館体育館
嵐南小	青少年育成センター
	嵐南公民館
	ソレイユ三条
西鱈田小	総合福祉センター
	本成寺公民館
大崎学園	サンファーム三条
	大崎会館
井栗小	大崎児童館
	井栗公民館
大島小	大島公民館
	かんきょう庵
栄中央小	栄体育館
	栄公民館
長沢小	下田体育館
飯田小	ウェルネスただ

一ノ木戸小、上林小、旭小、保内小、須頃小、栄北小、大面小、笹岡小、大浦小、森町小区に小学生が遊べる屋内施設の整備がない。

子どもの学びの場

小学校区	施設	小学校区	施設
裏館小	図書館本館まちやま内	西鱈田小	総合福祉センター
	中央公民館	旭小	NI to WA ※
	複合交流拠点 三-Me. ※	須頃小	三条市立大学
	地域と学生の交流拠点ろくのわ ※	栄中央小	かんきょう庵
	シェアスペースメリッサ ※		図書館栄分館
一ノ木戸小	三条東公民館		栄公民館
	中心市街地拠点施設TREE ※	長沢小	図書館下田分館
	三条ベース ※		下田公民館
嵐南小	嵐南公民館	森町小	漢学の里分室
	嵐南公民館分館		※民間施設
	ソレイユ三条		
	三条ものづくり学校		

○上林小、月岡小、大崎学園、井栗小、保内小、大島小、栄北小、大面小、笹岡小、大浦小、飯田小の地区に子どもの学びの場が整備されていない。

○上林小、保内小、栄北小、大面小、笹岡小、大浦小地区には、屋内で遊べる場所及び子どもの学びの場の両方が整備されていない。

学びの場として必要な設備

○安全なスペース ○トイレ ○机、(椅子) ○インターネット (Wi-Fi) 環境

トイレ整備やインターネット (Wi-Fi) 環境の整備には30万円以上かかる場合がある。

令和8年度の検討事項

- 子どもたちが居場所とする場の充実を図っていく必要がある。
- 場を提供したくても設備投資の点で二の足を踏んでいる民間の団体を支援できる取組を検討する必要がある。

2 現状と今後の方向性 【課題2】少子化に対応した保育所等の在り方の検討

◎現状と問題点

- 子どもの数は年々減少し、統合や閉園する施設が出ている。
- 三条市未来の学校検討委員会による提言書に市内幼児教育等関連施設の在り方の検討が必要であるとされている。

児童数の推移 ※毎年度3.31現在

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
0歳	696	637	660	628	564	532	545	456	406	399
1歳	676	700	651	654	609	560	548	552	451	408
2歳	717	678	712	653	646	619	564	557	553	472
3歳	790	723	682	710	640	645	616	555	571	563
4歳	775	788	724	685	705	642	648	620	551	568
5歳	787	782	798	718	684	706	650	646	621	549
計	4,441	4,308	4,227	4,048	3,848	3,704	3,571	3,386	3,153	2,959

10年間で▲33.4%減少している。

市内保育施設児童数の推移 ※毎年度3.31現在

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
0歳	210	220	220	219	199	210	207	210	180	183
1歳	384	403	414	428	437	423	410	403	410	363
2歳	572	547	516	553	514	534	508	479	479	487
3歳	757	783	711	672	690	630	639	610	546	560
4歳	787	772	787	712	678	700	640	645	619	543
5歳	796	781	752	788	708	686	697	646	648	615
計	3,506	3,506	3,400	3,372	3,226	3,183	3,101	2,993	2,882	2,751

10年間で▲21.5%減少している。

直近10年の保育施設の変遷

- H28.4：保育園たんぼ開設
- H29.4：どんぐりルーム開設
- H30.3：三条若葉幼稚園閉園
- H30.4：旭保育所・裏館保育所を裏館保育所に統合
：松葉幼稚園が認定こども園に変更
- R2.4：Sanjo森のようちえん開設
- R3.3：どんぐりルーム閉園
- R3.4：川通どれみ保育園が認定こども園に変更
：インヌエル・ルーテル幼稚園が認定こども園に変更
：ハッピー第六保育園開設
- R4.4：ハッピー第七保育園開設
- R6.4：石上どれみ保育園が認定こども園に変更
：三条白百合幼稚園が認定こども園に変更
- R7.4：あさひ保育園開設
：あささわ保育園、おぎぼり保育園、いいた保育園をしただ保育園に統合
：一ノ門わくわく保育園、田島わくわく保育園が認定こども園に変更
- R8.3：保育園たんぼ、宝塔院幼稚園閉園予定

令和7年度市内保育施設

- 公立保育所 9施設
- 私立保育園 11施設
- 私立幼稚園 1施設
- 認定こども園 9施設
- 地域型保育事業実施施設 5施設
- 認可外保育施設 5施設

令和8年度に私立保育園11施設のうち、5施設が認定こども園に変更予定

三条市未来の学校検討委員会による提言書

- 5 附帯事項
- (2) 市内幼児教育等関連施設の在り方の検討について
少子化の進行による課題は、小・中・義務教育学校に限ったものではありません。
子どもたちの学力の向上や生きる力の涵養を義務教育においてより効果的に進めていくためには、幼保小連携が円滑に推進されるなど、幼児教育の体制も問われます。
このことから、三条市内の保育所、保育園、認定こども園及び幼稚園等の将来にわたる在り方についても検討を進めていくことが必要であると考えます。

これまでの検討の進め方

- 保育所：民営化等検討委員会を設置し検討
- 小学校：未来の学校検討委員会及びただの郷未来の学校設置準備委員会を設置し検討

◎令和8年度の検討事項

- 先に挙げた現状と問題点を踏まえ、市内保育施設の統廃合を進めなければならない状況にある。
- 施設の老朽化や地域バランスといった課題も検討材料とすべきか。
- まずは、こういった形で統廃合を検討していくかを慎重に考えていく必要がある。

2 現状と今後の方向性 【課題3】 三条市の子ども・子育て支援に対するイメージアップ

◎現状と問題点

- 他市町村に先駆けた「サンキッズカード」だが、他市町村は子ども1人目からを対象としており、リニューアルの時期にある。
- 近隣市に比べ三条市の子ども・子育て支援に大きな差はないが、子ども・子育て世代にやさしくないというレッテルを貼られている。

子育て世帯の声

- 人づてで近隣市町村の方が補助金などが充実していると聞く。
- 近隣市町村は商業施設が充実している。
- 近隣市町村は屋内・屋外の大型の遊び場が充実している。
- 近隣市町村の方が経済的支援が良い。
- 近隣市町村の子育て応援カードは子ども1人目から使えるのが良い。
- 三条市の子育て支援施策は他市の後追いというイメージがある。
- すまいるランド・あそぼってや子育て支援センターをよく利用する。

ハウスメーカーの声

- 近隣市町村の方が家を建てる際の補助金や移住の際の補助金に力を入れている。
- 近隣市町村の方は、最近、商業施設が多く建設されている。
- 近隣市町村の補助金は、条件が緩いため、より多くの人が見えるため、近隣市町村での建築を勧めている。
- 近隣市町村の方が家を建てる際の土地が多くあり、かつ、安い。

サンキッズカード協賛店の声

- 利用者が少ないのでもっと利用してもらいたい。
- 他市のように1人目から使えるようにした方がよいのではないか。
- サンキッズカードのサービスを提供した分について補填してほしい。
- サンキッズカード協賛店ということ市からもっとPRしてほしい。

- 新しい施設の建設は財政面において難しい。
- 市内外から好評のすまいるランド・あそぼって及び子育て支援センターの講座やイベント内容を充実させていく。
- 細かなことでも積極的に情報を発信することで子育て支援を頑張っているというイメージを定着させる。
- 情報発信媒体の取捨選択を進める。

令和7年度のイメージアップ戦略

- 情報発信のメイン媒体を子ども・子育て世帯に親和性の高いLINE、Instagramに変更
- 毎月の市長記者会見に子ども・子育てに関する情報を必ず1つ以上発表
- 市長による子育てフリートークイベント「ゆるっと子育てトークwith滝沢市長」を開催
- 子育て支援サイトにAIが解説する動画を掲載
- ハウスメーカーへの三条市の子育て支援施策の売込み

◎令和8年度の検討事項

- 他市に先駆けて実施したサンキッズカードをどうリニューアルしていくか検討する。
- 必要とされる方に情報をわかりやすく伝えるために何が出来るか検討する。